



街あるつく田原  
令和4年8月1日(月) | 第58号

初出店のお店に行列!  
蒸し暑さを吹き飛ばすグルメがいっぱい!

## 雨降る、梅雨の中の ララグランマルシェ

梅雨の真っ只中の6月26日(日)、10時～15時までララグランで「LaLaGraN マルシェ」が開催されました。開始前から親子連れや子どもたちの姿が見られ、あいにくの雨のスタートでしたが、来場者が増えつつありました。

出店者15店のグルメも、かき氷やジュースといった冷たい物から、焼きたてのピザやステーキなど、夏らしいメニューがたくさんお目見えしました。



初出店は、田原の朝市で約30年ちりめんじゅっこを販売している吾郷商店。イベント限定の「フルーツ飴」の販売とあって、準備中から長い列ができていました。昔懐かしいりんご飴やいちご飴など、写真を撮つたりじっくり味わう子どもたちの姿が印象的でした。そして、揚げたての塩だれから揚げなどで人気の、豊川から出店のZawa。蒸し暑い初夏のマルシェに、初出店の味が加わりました。マルシェでお馴染みのチーム



他にも、ケバブやおかり焼きドーナツ、フランクフルトなど梅雨の蒸し暑さを吹き飛ばすグルメが並び、賑わいを見せた一日となりました。

夏りしへドリンクとして、田原マルヤス食堂の田原産の減農薬しようが100%で作ったクラフトジンジャーニール。「無添加」「無着色」「手作り」で届けたいと、地元の生のしょうがときび砂糖でピリッと辛い大人の味に仕上げたオリジナルです。



KITASA(来た佐)のフルコギ弁当などといったお弁当の数々や、田原米堂のみたらし団子など、ベンチに座つてお昼時間を過ごす親子が多く見受けられました。



## —七夕飾り・設置—

中間テスト最終日にあたる6月16日(木)、毎年恒例となっている7月開催の七夕イベント「星に願いを」に向けての準備を行いました。授業後に、応募した13人がセントファーレ2階会議室に集合し、協賛店に設置する七夕飾り専用台の飾りつけと、完成した専用台の運搬を担当。まちなか賑わいづくり実行委員会の指示のもと、1本の笹に4~5つの飾りと願い事を書いた短冊を括り付けていきました。そして、セントファーレ周辺の西地区、東地区、南地区に分かれ、協賛店に設置にまわり、およそ2時間で作業を終了。参加した1年生は「今後も、まちのためにできることをしていきたい」と蒸し暑い中、専用台を一生懸命運んでいました。

## たはランティア

### —竹あかり制作—

7月7日(木)・11日(月)・14日(木)に、竹あかり穴あけ作業を行いました。3日間で、1年生17人、2年生31人、3年生24人、合計72人が参加しました。制作経験のある生徒は慣れた手つきの生徒も多く、初めての生徒もまちなか賑わいづくり実行委員会の手ほどきもあり、道具の扱いに気を配りながら黙々と進められました。

また、16日(土)に行われた市民参加型竹あかり制作には、たはランティアのメンバーもお手伝い。8月7日(日)の竹あかりイベント当日も、たはランティアのコーナーが予定されています。



## 田原の風物詩 竹あかりイベント

8/7  
開催

### 歴史ウォーキングトレイル × 竹あかりタ涼みウォーキング

歴史ウォーキングトレイル(江戸時代から残る田原城跡に続く道)の沿道に設置された竹あかりを楽しみつつ、三河田原駅から田原城跡(博物館)まで博物館学芸員の解説を聞きながら散策するウォーキングイベントを開催します。

博物館でのイベントも楽しみ、田原市の悠久なる歴史の名残を感じながらまちなかを散策してみませんか。

【開催日時】8月7日(日) 17:00 ~ 20:00(小雨決行)

【集合場所】田原駅前広場(三河田原駅舎前)

\*18:00~、往路(駅~田原城跡)、19:30~、復路(田原城跡~駅)は学芸員のガイド付き。

その他の時間でもご自由に参加いただけます。受付は16:30~。

【参加特典】①博物館でミニチュア屏風づくり制作体験(先着100名) ②各組の缶バッヂ制作体験

【その他】博物館では、たはランティアの活動紹介、かき氷、輪投げ、花すくいなどお楽しみも盛りだくさん。

参加無料

## 七夕イベント 星に願いを

7月2日(土)



主催：まちなか賑わいづくり実行委員会

7月2日(土)、田原の夏のイベントの一つとして親しまれている「七夕イベント～星に願いを～」が、しらかば公園(ララグラン)にて開催されました。梅雨空け後の猛暑の中、親子連れを中心に大勢の家族が参加しました。

開始の15時前から、長い列ができるほどのにぎわい。願い事を書いた短冊を持参し、用意された笹に飾りつけした先着300名の子どもに「光るブレスレット」をプレゼント。また、浴衣を来て来場した子ども先着100名にはお菓子のプレゼントも配られました。書かれた短冊には願いが綴られた。家族が健康でいられるように、「家族が健康でいられるように」といった元通りの生活を願う声や、「もっと友達ができますように」と友達ができますようになど素直な願いが多く見られました。

16時からはご祈祷が始まり、「書いた願い事が叶うように、みなさんも一緒に願ってください」と宮司さん。手を挙げた代表者は、玉串を神様にお供えする玉串奉奠を行い、無事に執り行われました。飾りつけした笹はララグランをはじめ、田原駅前広場、セントファーレに設置されました。



## 日用雑貨から合力ギ制作まで 花形屋の歴史を守る

オオムラ  
シゲル  
**大村**  
秀さん

■花形屋の歴史  
今から約200年前の江戸時代後期に田原城下町の商店として、日用雑貨や金物雑貨の販売を始めたのが花形屋のルーツです。その後時代の流れに乗つて、扱う商品は大きく変わりましたが、お客様にやさしい役に立つ商品の販売をする精神は全



販売内容

日用雑貨、金物雑貨と言つても本当に多種多様ですが、鍋、やかんから、切れ味鋭い包丁、鋤、鍬等の農具、あさりを採る漁具等、所狭しと陳列されています。そして、もう一つ大きな商品が合力ギの販売、錠前交換です。合力ギの作成は機械の良し悪しだけでなく、製作者の知

■ 大村さんの生い立ち

大村秀さんは、高校まで、田原町で育ち、その後名古屋市内にある鍵メーカーでサラリーマンとして10年程修業された後、家業に入られました。

く変わつておらず、昭和の香りが漂う古臭い小さなお店です。

## ■大村さんの生き立ち

しかしながら、合計ギ一一番店として、できる限り新しい鍵に対応できるようにして頂きました。

昨今、鍵の世界もアナログから電子化が進み、車のキーはコンピューター入力が必要なもののが増えてきました。家のキーも複雑化して制作が非常に難しく

識と経験を生かした技術が必要です。大村さんは鍵メーカーに勤めていたおかげもあり、東三河ではあそこに行けば間違いなく素晴らしい合カギが手に入るよと評判の技術者です。



## ■理想の店づくり

ご来店されたお客様が満足して帰つて頂くように、古き良い品を欠かさない様に仕入れ努力をしていきます。大型店と差別化する意味においても、昔から変わらない良い商品を置くことが大事だと思っています。もう一つ弱者であるお年寄りからのお願いで、農具の修理や、網戸の張替などお手伝いできることは、積極的にやっていきます。これからも、地元の皆様になくてはならない店であり続けられる様、がんばつていりますと力強く話して頂きました。是非お宝さがしにご来店ください。



**住**田原市田原町稗田1-31  
**電**0531-22-0028  
**fax**0531-22-0028  
**営**10:00～18:30  
**休**不定休  
**P**店舗前

